

新型コロナウイルス感染症

区内の感染状況をお知らせします

区内の新型コロナ感染者数は、都内の推移とほぼ同じ傾向で増加しています。

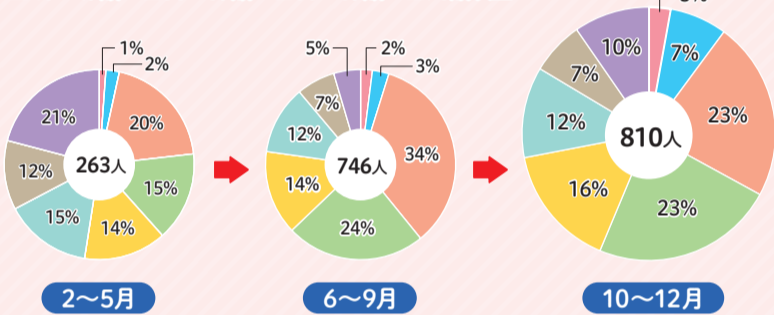
年始は親戚同士の集まりや初詣、新年会など、人が集まる機会が増えます。気を緩めることなく、感染リスクの高まる「5つの場面」等に十分注意して過ごしましょう。

— 問い合わせは、杉並保健所保健予防課 ☎3391-1025へ。

●年齢別感染者数

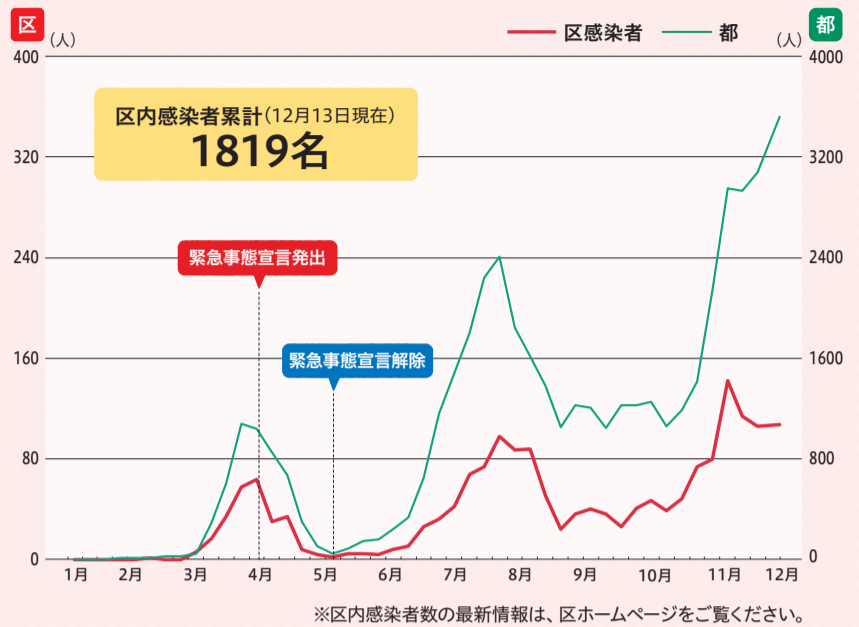
昨年当初は高齢者の割合が多く、夏期には20・30歳代が増えました。現在は、20～40歳代での感染が約7割を占めています。若年層は重症化する割合が低く、無症状者も多いため、自分でも気付かずに感染を拡大させる可能性があります。「自分も感染しているかもしれない」という心づもりで対策を講じることが大切です。

■10歳未満 ■10～19歳 ■20～29歳 ■30～39歳
■40～49歳 ■50～59歳 ■60～69歳 ■70歳以上



※期間内の新規感染者の数値。 ※小数点以下を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。 ※12月13日現在の集計データ。

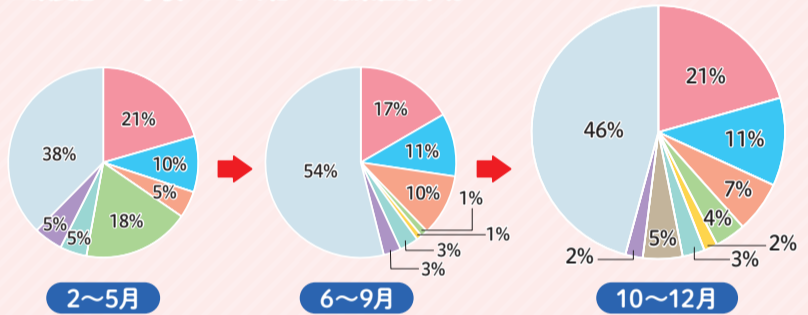
●区内の新型コロナウイルス感染症感染者数



●推測される感染経路

家族間での感染が依然多くの割合を占めています。健康状態に十分注意しつつ感染が疑われる場合には、部屋を可能な限り分ける、できるだけ換気する、マスク・消毒をするなどの対策を講じましょう。

■家族 ■職場 ■友人 ■医療機関 ■社会福祉施設
■飲食店 ■学校 ■その他 ■感染経路不明



新型コロナの感染リスクが高まる5つの場面 要注意!

- 1 飲食を伴う懇親会等
- 2 大人数や長時間におよぶ飲食
- 3 マスクなしでの会話



- 4 狭い空間での共同生活
- 5 居場所の切り替わり

出典：内閣官房ホームページより

各種支援事業の一覧をご活用ください

区ホームページでは、新型コロナの影響に対する「事業者向け」および「個人向け」支援事業の一覧を、国や都等の支援事業も含めて掲載しています。随時、更新していますので、ぜひご活用ください。



中小企業・商店街への支援



生活資金の支援

新型コロナウイルス感染症 | 次の症状がある方はまずはご相談ください

下記の症状のある方は、まずは電話でかかりつけ医へご相談ください。

●息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある

●重症化しやすい方※で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある

※高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患(COPD等)等の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方

●上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続いている

症状が4日以上続く場合は必ずご相談ください。症状には個人差があります。強い症状と思う場合にはすぐにご相談ください。解熱剤などを飲み続けなければならない方も同様です。

◆かかりつけ医がない、相談する医療機関に迷う場合は以下に電話してください。

杉並区受診・相談センター ☎3391-1299 (平日午前9時～午後5時)

東京都発熱相談センター ☎5320-4592 (24時間〈年中無休〉)

お知らせ 高齢や体が不自由などさまざまな事情で、「広報すぎなみ」の入手が困難な方には配送します。申し込みは広報課へ。

世帯と人口 (住民基本台帳) 12月1日現在()は前月比

世帯数	日本人のみの世帯	外国人のみの世帯	日本人と外国人の世帯	合計
	312,195(315減)	10,930(88増)	2,652(1増)	325,777(226減)

人口	性別		小計	合計
	男	女		
日本人	267,199(182減)	290,240(200減)	557,439(382減)	574,036(283減)
外国人	8,224(55増)	8,373(44増)	16,597(99増)	